

十津川村役場を表敬訪問

◇実施日 2月28日(水) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄 2名

十津川村：小山手修造村長、前岡幸英副村長、企画観光課田中秀憲課長、玉置雄一郎課長補佐 4名

昨年の夏ごろ、十津川村役場の玉置雄一郎君から電話で、総務省の「ふるさとづくり大賞」に推薦する。との連絡があった。その後年末に受賞の内示があり、今年1月16日に報道発表された。全国で27の個人、団体が表彰されるとのことだ。

受賞発表後、熊野新聞の取材を受け、テレビやラジオでも放送された。送られてきた表彰要領に示された受賞コメントや、ぐるーぷの紹介原稿の作成などがあり、対応に翻弄されたが、日ごとに受賞の重さを実感した。2月16日の表彰式には沖崎、梶野の2名で東京都千代田区永田町の都市センターホテルに日帰り出席、馬場総務副大臣から表彰状をいただいた。年のせいかわ東京日帰りはしんどかった。

帰宅後、玉置君に受賞報告の電話を入れ、村長さんへの面会をお願いし、2月28日に訪問した。

午前11時に村長さんらとお会いし、表彰状と副賞をお見せしてご推薦を頂いたお礼と、無事に表彰式が終わったことの報告を済ませた。そして、我々の日頃の活動や歴史について述べさせていた

いた。



十津川村役場



診療所と防災センター



小山手村長と面談

特に奥駆道縦走者にとって最大のネックともいえる玉置神社での宿泊について、村管理である第2駐車場辺りに避難小屋的な施設の設置をお願いした。

30分ほどの時間だったが、説明やお願いにも丁寧に対応していた。30分ほどの時間だったが、説明やお願いにも丁寧に対応していた。だき意義の有った訪問だった。

道の駅で昼食を済ませ、梶野君は玉置辻へ倒木処理に向かった。

帰宅途中、昨日亡くなった中前君たくに立ち寄る。奥さんは不在だったが、息子さんと娘さんが対応してくださった。

行者装束を身に着け、横たわる中前君を見るといたたまれない気持ちだった。

(記：沖崎)

玉置辻北の倒木処理

村役場で沖崎さんと別れ、玉置辻に向かった。先日この区間を歩い

た志岐さんと山本さんから「玉置辻から15分ほどの所に倒木がある」と聞いていたので、処理のためチェーンソーを持ってきた。



玉置辻



倒木



先端部を引き下ろす



玉置神社駐車場で



売店はお休みだった



バリケードは撤去

犬吠櫓の少し玉置神社寄り、玉置辻からちようど15分の所に直径

15cmほどの枯れた杉が横たわっている。根元は谷側にあり、途中で折れたようだ。2カ所を切って道脇に寄せ、斜面に残った先端部も引き下ろして処理した。玉置辻に戻る途中のアセビを少し切って作業を終了した。

志岐さんがペグを置き忘れたというので玉置神社の駐車場に向かった。テントを張ったトイレ前のタンク周辺を見るが何もない。売店も平日でお休みのため、柴山さんに聞くこともできず、駐車場を後にする。国道425号が今日から通れるはずなので、21世紀の森へ向かって状況を確認。バリケードは撤去されて、道路には掃除した跡があった。
(記・梶野)

行動タイム

12:30 村役場↓13:00 玉置辻↓13:15 倒木処理 13:30↓14:00 玉置辻↓14:23 玉置神社駐車場↓14:41 21世紀の森